

事前質問等について

No.	資料番号、資料名 ページ番号	事業名等	内容
1	保健所業務概要 P103	【19】自殺対策推進事業 1. いのち支える八戸市自殺対策計画	自殺対策関連事業の中で、精神科受診を要する方が、速やかに受診できないことが一番の課題ではないか。産業医としてストレスチェックの面談のみならず、随時行われる高ストレス者の面談においても、一刻も早い精神科受診が望まれるケースにしばしば遭遇する。 八戸地域では、公的三病院で精神科病棟の閉鎖が相次ぎ、外来診療も再来患者限定とされている。これまで特定の民間病院にお願いしてきたが、その病院でも昨今児童思春期症例が押しよせてきて、益々厳しい状況となっていると聞く。がん患者の中には、盛岡や仙台、東京など遠方まで出かけて受診する方もいる。しかしメンタルが不調な方は遠方まで出かけることは困難である。 地域における精神科医療の体制、あるいは児童・思春期の発達障害などに対応可能な小児医療の体制構築には、個々の医療機関単独での対応には限界があり、行政のリーダーシップが必須ではないかと考えるが、如何でしょうか。